

都立拝島高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 **国語** 科目 **言語文化**

单位数： 2 单位

(5組：甲斐田) (6組：甲斐田) (7組：岩瀬)

教科 国語 の目標：

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

[illegible]

都立拝島高等学校 令和6年度(1学年用)

教科 地理歴史

科目 地理総合

教科 地理歴史

科目 地理総合

単位数 2 単位

対象学年組 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者 (1～7組: 田中佳祐)

使用教科書: (帝国書院 高等学校 新地理総合)

教科 地理歴史 の目標:

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	結びつきを深める現代世界 【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	現代世界の国家と領域 尖閣諸島と排他的経済水域 竹島と国際司法裁判所 北方領土とウクライナ情勢 グローバル化する世界	結びつきを深める現代世界 【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	地図と地理情報システム 【知識・技能】 ・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 ・現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	地球上の位置と時差 地図の役割と種類	地図と地理情報システム 【知識・技能】 ・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 ・現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

2 学 期	自然環境と災害、 【知識・技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 ・さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	関東大震災 日本の自然環境 地震・津波と火災 火山災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え	自然環境と災害 【知識・技能】 我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	生活文化の多様性と国際理解 【知識・技能】 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活	生活文化の多様性と国際理解 【知識・技能】 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	地球的課題と国際協力 【知識・技能】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思考・判断・表現】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	複雑に絡み合う地球的課題 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口問題 食料問題 都市・住居問題	地球的課題と国際協力 【知識・技能】世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

都立拝島高等学校 令和6年度

教科

公民

科目

公共

教科： 公民

科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1、2、3、4、5、6、7組： 大野哲嗣)

使用教科書： (教育図書 高等学校 公共)

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 公共の扉 「公共と人」 【知識及び技能】 ・青年期が人生において持つ意味を理解する。 ・アイデンティティの確立と、画一性による他者排除の相違について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・意見の異なる相手との対話を実践する。 ・相手の意見を受けて自分の考えを述べる。 ・伝統的な生活文化が私たちの日本人の価値観や倫理観を規定している点を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自由で公正な社会を実現に向けて主体的に思考する。 ・対話によりコミュニティや社会をよりよい良いものしていこうという意欲を養う。	オリエンテーション 青年期とは 日本社会とは 対話から生まれる公共	【知識・技能】 ・青年期が人生において持つ意味を理解している。 ・アイデンティティの確立と、画一性による他者排除の相違について理解している。 【思考・判断・表現】 ・意見の異なる相手との対話が実践できる。 ・相手の意見を受けて自分の考えを述べることができる。 ・伝統的な生活文化が私たちの日本人の価値観や倫理観を規定している点を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自由で公正な社会を実現に向けて主体的に思考している。 ・対話によりコミュニティや社会をよりよい良いものしていこうという意欲が見て取れる。	○	○	○	7
	第1章 公共の扉 「公共と倫理」 【知識及び技能】 ・温暖化防止のための取り組みについて理解する。 ・先進国と途上国の立場の違いを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・原発稼働の賛否について、エビデンスをもとに判断し、自らの考えを表現する。 ・日本がどのような方法でCO ₂ を削減できるか思考する。 ・地球温暖化問題について、自分の身の回りの生活と、世界規模の視点の双方の観点から、考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・CO ₂ 削減のためには、一定程度の負担を引き受けることが必要であることを認識し、当事者として何をすべきか思考する。 ・AI技術の進歩により、便利になる一方で、様々な課題も生まれることに認識し、共存するために必要な考え方を思考する。	エネルギー政策 地球温暖化問題 AIとの共存	【知識・技能】 ・温暖化防止のための取り組みについて理解している。 ・先進国と途上国の立場の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 ・原発稼働の賛否について、エビデンスをもとに判断し、自らの考えを表現している。 ・日本がどのような方法でCO ₂ を削減できるか思考している。 ・地球温暖化問題について、自分の身の回りの生活と、世界規模の視点の双方の観点から、考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・CO ₂ 削減のためには、一定程度の負担を引き受けることが必要であることを認識し、当事者として何をすべきか思考している。 ・AI技術の進歩により、便利になる一方で、様々な課題も生まれることに認識し、共存するために必要な考え方を思考している。	○	○	○	5
	第1章 公共の扉 「公共の基本原則」 【知識及び技能】 ・三権分立など民主政治の重要概念を理解する。 ・憲法で規定された国民の権利と義務について、体系的に理解する。 ・高校生にとって最も身近な社会である学校のルールから、自由と規制について学び、	民主主義とは 民主政治の歴史 国民主権 基本的人権の尊重 三権分立	【知識・技能】 ・三権分立など民主政治の重要概念を理解している。 ・憲法で規定された国民の権利と義務について、体系的に理解している。 ・高校生にとって最も身近な社会である学校のルールから、自由と規制について学び、				

校のルールから、自由と規制について学び、学校のルールを考えることを通して社会を自分たちでつくっていく意識を育み、民主主義についての理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・民主主義のさまざまな制度がなぜ必要なのか、表現する。 ・個人と国家の関係を契約という視点から捉え思考、表現する。 ・権利の衝突に際し「公共の福祉」の概念が、どのような役割を果たすか思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らが持っている人権（自然権）について自覚を深める。 ・さまざまな基本的人権について、権利主体として自覚を深める。		校のルールを考えることを通して社会を自分たちでつくっていく意識を育み、民主主義についての理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・民主主義のさまざまな制度がなぜ必要なのか、表現できている。 ・個人と国家の関係を契約という視点から捉え思考、表現している。 ・権利の衝突に際し「公共の福祉」の概念が、どのような役割を果たすか思考している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らが持っている人権（自然権）について自覚を深めている。 ・さまざまな基本的人権について、権利主体として自覚しつつある。	○	○	○	13
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	第2章 現代社会の諸課題 「法」 【知識及び技能】 ・日本の法体系、法の分類、法の対象について理解する。 ・三権分立における司法の役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・消費が社会や環境に与える影響について具体的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よき消費者として、どう行動すべきか自覚を深める。 ・憲法訴訟について自ら調べ、違憲、合憲の判決について思考する。	法と社会 消費者の権利と責任 日本の司法制度	【知識・技能】 ・日本の法体系、法の分類、法の対象について理解している。 ・三権分立における司法の役割を理解している。 【思考・判断・表現】 ・消費が社会や環境に与える影響について具体的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よき消費者として、どう行動すべきか自覚を深めている。 ・憲法訴訟について自ら調べ、違憲、合憲の判決について思考しようとしている。	○	○	○	11
	第2章 現代社会の諸課題 「政治」 【知識及び技能】 ・世論がどのように形成され、政治に影響しているのかという基本構造を理解し、その問題点を読み取る。 ・憲法9条と、自衛隊、日米安全保障条約、集団的自衛権をめぐる、さまざまな解釈と裁判があり、こんにちにいたる歴史的経緯を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・個々の選挙制度についての利点と難点を、民意をよりよく反映させるという観点から説明する。 ・難民の受け入れをめぐる先進国内で紛糾している理由について考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・先進国である日本が国際社会で果たすべき役割について、自覚を持つ。	選挙と政治参加 公正な世論の形成 安全保障と防衛 21世紀の世界情勢 国際社会と日本	【知識・技能】 ・世論がどのように形成され、政治に影響しているのかという基本構造を理解し、その問題点を読み取っている。 ・憲法9条と、自衛隊、日米安全保障条約、集団的自衛権をめぐる、さまざまな解釈と裁判があり、こんにちにいたる歴史的経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 ・個々の選挙制度についての利点と難点を、民意をよりよく反映させるという観点から説明することができる。 ・難民の受け入れをめぐる先進国内で紛糾している理由について考察し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・先進国である日本が国際社会で果たすべき役割について、自覚を持ちつつある。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	第2章 現代社会の諸課題 「経済」 【知識及び技能】 ・「高負担・高福祉」と「低負担・低福祉」という年金制度についての二つの基本的な考え方を理解する。 ・南北問題、南南問題が生じている構造を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・税収と公債発行額の相関関係について注目し、必要な財源を確保するためにどのような政策が望ましいか思考する。 ・日銀が現在行っている金融政策の内容と目的、その効果について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・労働環境めぐる変化の中で、自らが将来どのような働き方を望むか主体的に思考する。 ・少子高齢化がさらに進む近い将来に、自らが社会保障費の負担者となることを考慮し、この問題を考える。	雇用と労働 財政の役割 租税の仕組みと国債 少子化と社会保障 人口減少と日本経済 日本銀行と金融政策 格差是正と多文化主義	【知識・技能】 ・「高負担・高福祉」と「低負担・低福祉」という年金制度についての二つの基本的な考え方を理解している。 ・南北問題、南南問題が生じている構造を理解している。 【思考・判断・表現】 ・税収と公債発行額の相関関係について注目し、必要な財源を確保するためにどのような政策が望ましいか思考している。 ・日銀が現在行っている金融政策の内容と目的、その効果について表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・労働環境めぐる変化の中で、自らが将来どのような働き方を望むか主体的に思考している。 ・少子高齢化がさらに進む近い将来に、自らが社会保障費の負担者となることを考慮し、この問題を考えている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

都立拝島高等学校 令和6年度

教科

数学

科目 数学 I

教 科： 数学

科 目： 数学 I

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1,2組 α ：原) (1,2組 β ：西勝) (1,2組 γ ：古家) (3,4組 α ：原) (3,4組 β ：西勝) (3,4組 γ ：古家)
(5,6組 α ：原) (5,6組 β ：西勝) (5,6組 γ ：古家) (7組 α ：原) (7組 γ ：西勝)

使用教科書： (新編数学 I 数研出版)

教科 数学

の目標：

【知 識 及 び 技 能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】活用しようとする態度、粘り強く考え論拠に基づいて判断しようとする力の基礎を養う。

科目 数学 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみる力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表す式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【知識及び技能】 単項式・多項式の用語を理解する。多項式の加法・減法ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性】 単項式、多項式の式を整理する。	第1章 式と計算 整式の加法と減法 【知識及び技能】 単項式、多項式、同類項などの用語。降べきの順に整理。多項式の加法・減法。 【学びに向かう力、人間性等】 式を目的に応じて1つの文字に着目して整理する。	【知識及び技能】 単項式や多項式、同類項、次数など式に関する用語を理解している。 多項式について、同類項をまとめたり、ある文字に着目して降べきの順に整理したりすることができる。 多項式の加法、減法の計算ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 単項式、多項式とその整理の仕方に関心を持ち、考察しようとする。	○		○	7
	【知識及び技能】 指数法則、多項式の計算ができるようになる。因数分解の公式を扱えるようになる。 【思考、判断力、表現力】 複雑な展開、因数分解を扱える。 【学びに向かう力、人間性】 展開と因数分解の関係に着目する。	整式の乗法・因数分解 【知識及び技能】 指数法則、多項式の計算。因数分解の公式。 【思考力、判断力、表現力等】 式の形の特徴に着目して変形する展開の公式。文字のおき換えの因数分解。 【学びに向かう力、人間性等】 展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用する。	【知識・技能】 乗法の計算、展開の公式、因数分解の公式を利用できる。 【思考・判断・表現】 式の展開、因数分解の公式を適用できるようにすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多項式の乘法には、分配法則が使えることに関心を持ち、展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 根号を含む加法、減法、乗法の計算ができるようになる。 【思考、判断力、表現力】 根号を含む式の計算ができる。 【学びに向かう力、人間性】 根号を含む式の計算公式を証明する。	実数・根号を含む式の計算 【知識及び技能】 有理数の定義。平方根の意味、性質。根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。分母の有理化。 【思考力、判断力、表現力等】 根号を含む式の計算についての一一般化 【学びに向かう力、人間性等】 根号を含む式の計算公式。	【知識・技能】 平方根の意味、性質を理解している。根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また、分母の有理化ができる。 【思考・判断・表現】 根号を含む式の計算について、一般化して考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 根号を含む式の計算公式を証明しようとする。	○	○	○	10
	【知識及び技能】 不等式の意味を知る。 【思考、判断力、表現力等】 1次不等式を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性】 1次不等式の具体的な利用方法を理解する。	不等式の性質・1次不等式 【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質。 【思考力、判断力、表現力等】 1次不等式の解法。連立不等式の解法。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式。	【知識・技能】 1次不等式、連立1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 $A < B < C$ を $A < B$ かつ $B < C$ として捉えることができ、不等式を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 不等式における解の意味について考察しようとする。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 グラフの平行移動を理解し、平方完成することができる。 【思考、判断力、表現力等】 2次関数の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性】 放物線の利用を考える。	第3章 2次関数 2次関数のグラフ 【知識及び技能】 $y=f(x)$ の表記。グラフの平行移動。平方完成。 【思考、判断力、表現力等】 2次関数の特徴。頂点の移動。 【学びに向かう力、人間性等】 放物線のもつ性質。	【知識・技能】 グラフの表記について、平行移動とともに理解している。平方完成を利用して、軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の特徴について、多面的に考察することができる。放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 放物線のもつ性質。	○	○	○	9
	【知識及び技能】 2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 【思考、判断力、表現力等】 2次関数の最大値、最小値の意味を理解できる。 【学びに向かう力、人間性】 2次関数の最大値、最小値の活用を考えることができる。	2次関数の最大・最小 【知識及び技能】 2次関数の最大値・最小値。定義域がある最大値・最小値。 【思考、判断力、表現力等】 2次関数の値の変化。定義域の変化。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の最大・最小の考えの活用。	【知識・技能】 2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。定義域に制限がある場合に、最大値、最小値をもとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活における具体的な事象を考察し、活用しようとする。	○	○	○	7
	【知識及び技能】	2次関数の決定	【知識・技能】				

2 学 期	条件を代入し、2次関数の式を決めることができる。 【思考、判断力、表現力等】 条件に適した式を判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 条件に関心をもつ。	【知識及び技能】 与えられた条件から2次関数を決定する。 【思考、判断力、表現力等】 条件を処理するのに適した形を判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の決定の考察。	与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。連立3元1次方程式の解き方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 条件を処理するのに適した式の形を判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 条件に興味、関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 2次方程式の解を求めることができる。x軸との共有点の座標や個数を求めることができる。 【思考、判断力、表現力等】 判別式を用いて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 解の公式を使おうとする。	2次方程式 【知識及び技能】 2次方程式の解法。グラフとx軸の共有点の座標、個数を求める。 【思考、判断力、表現力】 実数解や重解をもつための条件。判別式。 【学びに向かう力、人間性等】 解の公式の利用。	【知識・技能】 2次方程式の解き方を理解している。グラフとx軸の共有点の座標・個数を求めることができる。 【思考・判断力・表現力】 実数解や重解をもつための条件を式で表すことができる。グラフとx軸の個数や位置関係を判別式から考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 解の公式を積極的に利用しようとする。	○	○	○	9
	【知識及び技能】 2次不等式を解くことができる。連立不等式を解くことができるようになる。 【思考、判断力、表現力等】 2次関数と2次不等式の関連性を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 図を利用し、2次不等式を考える。	2次不等式 【知識及び技能】 2次不等式の解法。連立不等式の解法。 【思考、判断力、表現力】 2次関数と2次不等式の解の関連。 【学びに向かう力、人間性等】 2次不等式における図の利用。	【知識・技能】 2次不等式を解くことができる。連立不等式を解くことができる。 【思考・判断力・表現力】 2次関数と2次不等式を関連させて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 解の公式を積極的に利用しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 三角形の正弦・余弦・正接を求めることができる。相互関係を利用できるようにする。 【思考、判断力、表現力等】 三平方の定理を利用し、相互関係を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 相互関係を調べる。	第4章 三角比 三角比 三角比の相互関係 【知識・技能】 直角三角形の正弦・余弦・正接。相互関係の利用。 【思考力・判断力・表現力】 三角比の表の読み取り。三平方の定理の利用。 【学びに向かう力、人間性等】 相互関係を調べる。	【知識・技能】 直角三角形において、正弦、余弦、正接を求められる。相互関係を利用し、残りの値を求められる。 【思考・判断力・表現力】 三角比の表から、三角比の値を読み取ることができる。三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相互関係を調べようとする。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 鈍角まで拡張した三角比を求めることができる。 【思考、判断力、表現力等】 鈍角への拡張を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 図を用いて考える。	三角比の拡張 【知識・技能】 180°まで拡張した三角比を求める。 【思考・判断・表現力】 鈍角への拡張 【学びに向かう力、人間性等】 図を用いての拡張	【知識・技能】 180°までの三角比を拡張することができる。 【思考・判断力・表現力】 鋭角から鈍角に拡張して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 図を積極的に利用しようとする。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 正弦定理、余弦定理、三角形の面積の公式を利用する。 【思考、判断力、表現力等】 正弦定理、余弦定理、三角形の面積の公式を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 図形的な意味を考える。	正弦定理・余弦定理・三角形の面積 【知識・技能】 正弦定理、余弦定理、三角形の面積の公式を利用する。 【思考・判断・表現力】 正弦定理、余弦定理、三角形の面積の公式を導く。 【学びに向かう力、人間性等】 正弦定理、余弦定理、三角形の面積の図形的意味。	【知識・技能】 定理を適切に処理できる。 【思考・判断力・表現力】 定理を導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 図形的意味を考察し、定理を導こうとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計 105

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教 科： 数学

科 目： 数学A

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組：白田尚輝）（2組：古家一範）（3組：西勝将幸）（4組：古家一範）（5組：白田尚輝）（6組：西勝将幸）（7組：西勝将幸）

使用教科書：（新編 数学A 数研出版）

教科 数学

の目標： 数学的な見方や考え方を数学的活動を通じて涵養し、思考する能力を育成する。

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し数学的に表現・処理したりする技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を論理的に考察する力や事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 学習内容を活用しようとする態度、粘り強く考え論拠に基づいて判断しようとする力の基礎を養う。

科目 数学A

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質や場合の数と確率において基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。また、数学と人間の活動の関係においての事象を数学的に解釈したり、表現・処理できる技能を身に付ける。	図形の構成や関係に着目し、その性質を論理的に考察する。また、不確実な事象において確率の性質に基づいた事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動から数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠を判断しようとする態度、問題解決の過程から考察を深め、評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	集合 【知識及び技能】 集合の定義や記号を憶えるようになる。また、集合の概念を基にベン図を用いて、視覚的な知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の定義や記号を用いて、その概念を基にベン図上に判断をしながら、表現することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 集合の概念を思考することで日常的な事象を、集合の要素を表現できるようにする。	集合の要素 集合の表し方 部分集合	【知識・技能】 列記法や表明法を数の並びの規則性を模倣しながら表記をすることが出来る。また、集合と要素の関係を表せたり、集合どうしの包含関係を明確に理解している。 【思考・判断・表現】 集合の表記法や要素、包含関係を判断し、ベン図を用いて表現することができる。また、空集合や部分集合の関係性を思考しながら、表記ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 素数や自然数、約数や倍数、奇数や偶数の関係性を提示し、数の概念や数の拡張について思考が及ぶようになる。	○	○	○	6
	A 集合 【知識及び技能】 和集合や共通集合、全体集合や補集合の関係をベン図を用いて表現ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ド・モルガンの法則を用いた表現を利用しながら、視覚的に思考し、規則性や対称性から判断することで関係性を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 求める集合がベン図のどの部分に該当するかを判断し、ド・モルガンの法則に活用しようとする。	共通部分と和集合 補集合 3つの集合の共通部分と和集合	【知識・技能】 和集合や共通集合の要素を全体集合の概念を認識しながら、図形に表える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ベン図を視覚的に捉えることで、別の表現方法がないかを考え、表現を工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 「AでもBでもない」という表現を「AかつBではない」と思考し、要素の関係性からド・モルガンを学習しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	集合の要素の個数 場合の数 【知識及び技能】 要素の個数で何や幾の法則等の数え上げの原則を習得する。また、その事象の考察に活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ベン図を提示することで、要素の個数を数え考えられる。場合の数と数える適切な方針を考え、個数を数える方法を考得できる。 【学びに向かう力、人間性等】 集合を考察することで、日常的な事柄などを集合の個数として数的に数えようとする。	集合の要素の個数 倍数の個数 樹形図 和の法則 積の法則	【知識・技能】 和集合や補集合の要素の個数を利用しベン図を活用することで適切に処理することができる。また、樹形図からもれなく、素早く数え上げることができる。 【思考・判断・表現】 ベン図を利用し集合を提示することで集合の要素の個数を考察できる。また、場合の数と数える適切な方針を考得できる。 表を使って集合の要素を求める方法に興味を持ち、それを利用する。また進め数え方に興味を示し、樹形図の対称性を利用した数え方に関心をもつ。	○	○	○	9
	B 順列 【知識及び技能】 ものの並びの1つ1つを順列ということを理解する。また、順列の公式を把握した上で、活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 既知の順列や積の法則を基に、順列の考察をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 既知である積の法則から順列の総数を求める方法を導くことができる。	順列の総数 順列の考え方の利用	【知識・技能】 順列の総数や、階乗を記号で表し、それらを活用できる。また、順列に条件がつく場合に条件処理の方法を理解している。 【思考・判断・表現】 条件がつく順列の考え方を要変したり、別のものへ対応させることで適切に処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ものの並びの方法を数える際に、順列の考え方を利用することができることに、興味や関心をもつ。	○	○	○	5
2 学期	定期考査			○	○		1
	C 組合せ 【知識及び技能】 組合せの考え方を順列との相違点を明確にし、理解をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 既知である順列の総数と組合せの総数を考えられる。また、順列と組合せの相違点を自ら判断し、対応表で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 順列と組合せの違いや利用の仕方を積極的に学習することができる。	組合せの総数と性質 組合せの考え方の利用 同じものを含む順列	【知識・技能】 組合せの総数を記号で表し、その総数を適切に処理することができる。また、順列の既習事項を利用し、基本的な組合せや条件のついた組合せ求めることができる。 【思考・判断・表現】 条件のついた組合せを見方を要変したり、別なものに対応させることで処理することができる。また、同じものを含む順列を組合せの学習内容から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 順列と組合せの違いに興味・関心をもって学習に取り組むことができる。その上で、重複の組合せの総数を、順列や組合せの考えを適切に求めようとする。	○	○	○	6
	D 事象と確率 【知識及び技能】 確率は全ての既元事象が同様に確からしい場合にのみ成立することを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 確率の意味や基本的な考え方を理解し、それらの事象の考察をすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 統計的な確率と数値的な確率の違いを学習しようとする。	確率の意味 試行と事象 同様に確からしいときの確率 いろいろな事象の確立	【知識・技能】 確率の意味や試行や事象の定義を理解をし、その結果を適切に処理することができる。 【思考・判断・表現】 試行の結果を事象として捉え、事象と集合を結び付けて考察することができる。また、不確実な事象を同様に確からしいという概念をもとに捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 まことを教える事象などの具体的な事象を通じて、統計的な確率と数値的な確率の違いに興味や関心をもてる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	E 確率の基本的性質 【知識及び技能】 確率の意味や法則を理解した上で、様々な事象を正しく事象として表したり適切に処理することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 確率の意味や法則を理解した上で事象を正しく判断して、事象として表したり適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 既習内容を基に複雑な事象の確率を表現したり、判断をするなど前向きに学習をする。	積事象と和事象 排反事象 確率の基本的性質 余事象とその確率 一般の和事象の確率	【知識・技能】 積事象や和事象の定義を正しく理解し、確率の基本的性質を基に正しく処理することができる。 【思考・判断・表現】 集合の性質などを用いて確率の基本的性質などを考察したり、適切に判断をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 既習の積の加法定理などを活用することで、様々な確率を意図的に求めようとする。	○	○	○	6
3 学期	F 独立な試行の確率 【知識及び技能】 独立な試行の確率は、どの試行の結果も他の試行の結果に影響を与えないことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 独立な試行の確率を具体的な例を参考に直感的に考え、正答までプロセスを正しく表現した上で、正答を導き出すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 考えられた事象に対して、様々な見方や考え方を活用することで学習についていこうとしている。	独立な試行の確率 反復試行の確率 確率の乗法定理	【知識・技能】 複雑な独立試行を既習内容の公式や加法定理を用いて求めることができる。また、反復試行の確率においても同様に適切に処理することができる。 【思考・判断・表現】 既習の確率の知識を利用して様々な確率を考察し、表現しなおすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 独立な試行の確率や反復試行の確率に興味をもって調べ、正答を正しく求めようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	G 二角形の辺の比 A 三角形の外心・内心・重心 デューの定理 メネラウスの定理 B 円に内接する四角形 【知識及び技能】 三角形や円に関する基本的な性質を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の新たな性質を見出し、その性質について論理的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な図形に対して性質や定理を積極的に学ぶ。	線分の比と三角形の角の二等分線 三角形の外心 三角形の内心 三角形の重心 チェバの定理 メネラウスの定理 円周角の定理 円に内接する四角形	【知識・技能】 線分の内分・外分、平行線と比などの基本的な内容を理解した上でそれらを正確に正しく求めることができる。また、三角形の内心・外心・重心の定義や性質を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 図形的性質を既習内容を活用しながら論理的に考察し、適切な補助線をひくなど正確な判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 線分の内分や外分、三角形の角の二等分線などを自ら調べようとする。また、三角形の内心・外心・重心の性質に興味をもち考察しようとする。	○	○	○	9
合計				○	○		1
							70

年間授業計画

都立拝島高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 理科 科目 化学基礎

教科 理科 科目 化学基礎 単位数 2 単位

対象学年組 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者 (1 組: 阿久津・小泉) (2 組: 阿久津・小泉) (3 組: 阿久津・小泉) (4 組: 阿久津・小泉) (5 組: 阿久津・小泉) (6 組: 阿久津・小泉) (7 組: 阿久津・小泉)

使用教科書 (新編化学基礎 東京書籍)

教科 理科 の目標:

- 【知識及び技能】実験・観察などを通して基本的な操作や危険性を理解し身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】中学校で学習した理科との結びつきを基礎として、根拠に基づいた自分の考えを持ち表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】社会の中における理科の役割に興味を持ち、積極的に学ぶ姿勢を持っている。

科目 化学基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実験・観察などを通して基本的な操作や危険性を理解し身につけるとともに、化学の基本的な概念や社会での役割を理解し考えることができる。	中学校で学習した理科との結びつきを基礎として、化学的な根拠に基づいた自分の考えを持ち表現することができる。	社会の中における化学の役割に興味を持ち、積極的に学ぶ姿勢を持っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期		○分解反応 ・物質の三態 ・化学変化と物理変化 ○粒子模型図 ・元素と原子 ・元素記号 ・周期表 ・同位体 ○化学反応式	・実験に主体的に取り組んでいる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、説明することができる。 ・化学変化について、粒子モデルと化学式で表現することができる。	○	○	○	12
	定期考査						1
		○分解反応 ・物質の三態 ・化学変化と物理変化 ○粒子模型図 ・元素と原子 ・元素記号 ・周期表 ・同位体 ○化学反応式	・実験に主体的に取り組んでいる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、説明することができる。 ・化学変化について、粒子モデルと化学式で表現することができる。	○	○	○	12
	定期考査						1
2 学 期		○水の電気分解 ○炭酸水素ナトリウムの熱分解 ○塩化銅水溶液の電気分解 ○イオンの構造 ○塩酸の電気分解 ○電解質と非電解質	・実験に主体的に取り組んでいる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、説明することができる。 ・化学変化について、粒子モデルと化学式で表現することができる。 ・分解反応から化学反応を化学式で説明することができる。 ・電流の性質からイオンの構造と性質について説明することができる。	○	○	○	14
	定期考査						1
		○水の電気分解 ○炭酸水素ナトリウムの熱分解 ○塩化銅水溶液の電気分解 ○イオンの構造 ○塩酸の電気分解 ○電解質と非電解質	・実験に主体的に取り組んでいる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、説明することができる。 ・化学変化について、粒子モデルと化学式で表現することができる。 ・分解反応から化学反応を化学式で説明することができる。 ・電流の性質からイオンの構造と性質について説明することができる。	○	○	○	14
	定期考査						1
3 学 期		○酸と塩基	・実験に主体的に取り組んでいる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、説明することができる。 ・化学変化について、粒子モデルと化学式で表現することができる。 ・分解反応から化学反応を化学式で説明することができる。 ・電流の性質からイオンの構造と性質について説明することができる。 ・中和反応から酸と塩基の性質について	○	○	○	13
	定期考査						1
							合計 70

都立拝島高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科

保健体育

科目 体育

教 科：保健体育

科 目：体育

単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組 男子

教科担当者：（1 組：伊藤、日野（2 組：伊藤、日野、（3 組：伊藤、日野（4 組：伊藤、日野（5 組：伊藤、日野（6 組：伊藤、日野（7 組：伊藤、日野

使用教科書：（

）

教科 保健体育

の目標：

【知 識 及 び 技 能】それぞれの運動の特性に応じた技能や健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】運動・健康についての課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって運動に親しむ態度や健康の保持増進、体力の向上を目指す態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるよう	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体力テスト 【知識及び技能】 授業の流れを理解するとともに、体力テストの意義を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の体力の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら、活動に積極的に関与することを目指す。	・体力テストの意義の理解 ・各種目の測定 ・自己の体力、運動能力の把握	A 体つくり運動	・体力テストの意義について理解している。 ・各測定に積極的に取り組もうとしている。 ・自己の体力の特徴を知り、その向上のために何が必要かを考えることができる。	○	○	○	8
	B 体育祭練習 【知識及び技能】 体育祭に向け、各種目の記録の向上を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 クラスの課題を見つけ、その解決に向けて練習を工夫することができる。	・いかだ流し ・全員リレー	A 体つくり運動	・体育祭に向け、仲間と協力して活動に取り組むことができる。 ・記録の向上に向け、何が必要かを考え、行動することができる。		○	○	8
	C 水泳(1・2学期) 【知識及び技能】 水泳や水の特性を理解するとともに、基本的な泳法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。 D 柔道(展開通年) 【知識及び技能】 武道の特性や伝統的な考え方、礼法、所作等を理解し、尊重することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を設定し、その課題を解決するために動き等を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 武道に対して真摯に向き合い、相手を尊重することで自他共栄の精神を実践することができる。	・25mのタイム測定 ・時間泳 ・水泳や水の特性についての理解 ・礼法 ・後ろ受け身 ・横受け身 ・前回り受け身	D 水泳 F 武道	・安全に注意して、仲間と協力しながら活動に取り組むことができる。 ・自己の課題を見つけ、記録の向上のために必要なことを考え、行動することができる。 ・水泳や水の特性を理解することができる。 ・武道の特性や、礼法、所作等を理解し、尊重することができる。 ・自分の課題を設定し、その解決に向け、動き等を工夫することができる。 ・武道に対して真摯に向き合い、相手を尊重することで自他共栄の精神を実践することができる。	○	○	○	14
	E ダンス(展開通年) 【知識及び技能】 リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化のまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 選択したダンスについて、自己や仲間の動きや表現を分析して、良い点や修正点を指摘することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができるようになる。	・ステップ ・ターン ・カノン ・ユニゾン ・グループ発表	G ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化のまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができる。 ・選択したダンスについて、自己や仲間の動きや表現を分析して、良い点や修正点を指摘することができる。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	35
	F 体つくりトレーニング(展開通年) 【知識及び技能】 効果的なトレーニングの仕方を理解することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 チームの仲間と教えあいながらトレーニングすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができるようになる。	・目標設定 ・自重トレーニング ・マシントレーニング ・フリーウェイトトレーニング ・トレーニング計画をたてる	体つくり運動	・効果的なトレーニングの仕方を理解することができる。 ・チームの仲間と教えあいながらトレーニングすることができる。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	G バスケットボール（2・3学	・ドリブル		・バスケットボールの特性を理解するととも				

科目 **体育**

单位数： 3 单位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組 女子

教科担当者：（１組：伊藤、日野）（２組：伊藤、日野、）（３組：伊藤、日野）（４組：伊藤、日野）（５組：伊藤、日野）（６組：伊藤、日野）
（７組：伊藤、日野）

使用教科書：（

の目標：

【知 識 及 び 技 能】それぞれの運動の特性に応じた技能や健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】運動・健康についての課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって運動に親しむ態度や健康の保持増進、体力の向上を目指す態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるよう	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体力テスト 【知識及び技能】 授業の流れを理解するとともに、 体力テストの意義を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の体力の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら、活動に積極 的に関与することができる。	・体力テストの意義の理解 ・各種目の測定 ・自己の体力、運動能力の把握	A 体つ くり運動	・体力テストの意義について理解している。 ・各測定に積極的に取り組もうとしている。 ・自己の体力の特徴を知り、その向上のため に何が必要か考えることができる。	○	○	○	8
	B 体育祭練習 【知識及び技能】 体育祭に向け、各種目の記録の向 上を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 クラスの課題を見つけ、その解決 に向けて練習を工夫することがで きる。	・いかに流し ・全員リレー	A 体つ くり運動	・体育祭に向け、仲間と協力して活動に取り 組むことができる。 ・記録の向上に向け、何が必要かを考え、行 動することができる。		○	○	8
	C 水泳(1・2学期) 【知識及び技能】 水泳や水の特性を理解するととも に、基本的な泳法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を見つけ、記録の向上 のために必要なことを考え、行動 することができる。	・25mのタイム測定 ・時間泳 ・水泳や水の特性についての理解	D 水泳	・安全に注意して、仲間と協力しながら活動 に取り組むことができる。 ・自己の課題を見つけ、記録の向上のために 必要なことを考え、行動することができる。 ・水泳や水の特性を理解することができる。	○	○	○	14
	D 柔道(展開通年) 【知識及び技能】 武道の特性や伝統的な考え方、礼 法、所作等を理解し、尊重するこ とができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を設定し、その課題を 解決するために動き等を工夫する ことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 武道に対して真摯に向き合い、相 手を尊重することで自他共栄の精 神を実践することができる。	・礼法 ・後ろ受け身 ・横受け身 ・前回り受け身	F 武道	・武道の特性や、礼法、所作等を理解し、尊 重することができる。 ・自分の課題を設定し、その解決に向け、動 き等を工夫することができる。 ・武道に対して真摯に向き合い、相手を尊重 することで自他共栄の精神を実践することが できる。	○	○	○	
	E ダンス(展開通年) 【知識及び技能】 リズムの特徴を強調して全身で自 由に踊ったり、変化のまとまりを 付けて仲間と対応したりして踊る ことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 選択したダンスについて、自己や 仲間の動きや表現を分析して、良 い点や修正点を指摘することがで きるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険の予測をしながら回避行動を とるなど、健康・安全を確保する ことができるようになる。	・ステップ ・ターン ・カノン ・ユニゾン ・グループ発表	G ダンス	・リズムの特徴を強調して全身で自由に踊っ たり、変化のまとまりを付けて仲間と対応し たりして踊ることができる。 ・選択したダンスについて、自己や仲間の動 きや表現を分析して、良い点や修正点を指摘 することができる。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるな ど、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	35
	F 体づくりトレーニング(展開通 年) 【知識及び技能】 効果的なトレーニングの仕方を理 解することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 チームの仲間と教えあいながらト レーニングすることができるよ うになる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険の予測をしながら回避行動を とるなど、健康・安全を確保する ことができるようになる。	・目標設定 ・自重トレーニング ・マシントレーニング ・フリーウェイトトレーニング ・トレーニング計画をたてる	体づくり運 動	・効果的なトレーニングの仕方を理解するこ とができる。 ・チームの仲間と教えあいながらトレーニン グすることができる。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるな ど、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	

2 学 期	G ソフトボール（２・３学期） 【知識及び技能】 ゲームのルールや技術について理解するとともに、投げる、捕る、打つ等の基本的な動作を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を見つけ、その解決に向けて練習方法等を工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と教え合いながら、活動に主体的に取り組む態度を育む。	・キャッチボール ・バッティング ・ゲームのルールの理解	E 球技	・ゲームのルールや技術について理解するとともに、投げる、捕る、打つ等の基本的な動作を身に付けることができる。 ・自己やチームの課題を見つけ、その解決に向けて練習方法等を工夫することができる。 ・仲間と教え合いながら、活動に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	14
	H バドミントン（２・３学期） 【知識及び技能】 バドミントンの特性やルールについて理解するとともに、シャトルをコントロールしながらラリーをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 活動に対して自ら進んで取り組む態度を養う。	・ラケットの持ち方 ・基本的な打ち方 ・ラリー練習 ・ゲームのルール理解	E 球技	・バドミントンの特性やルールについて理解するとともに、シャトルをコントロールしながらラリーをすることができる。 ・自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫することができる。 ・活動に対して自ら進んで取り組むことができる。	○	○	○	14

3 学 期	I 体育理論 【知識及び技能】 運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の状況によって体力の向上を図る能力を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	・スポーツの発症と発展 ・運動・スポーツの学び方 ・豊かなスポーツライフの設計	H 体育理論	・スポーツの特徴、歴史、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。 ・生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ・運動の楽しさや喜びを味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	J 長距離走 【知識及び技能】 ペースの変化に応じて走ったり、上下動が少なくリラックスしてリズムカルな走りをする力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技の楽しさや喜びを味わいながら、主体的に活動に取り組む態度を養う。	・距離走 ・ペース走	C 陸上競技	・ペースの変化に応じて走ったり、上下動が少なくリラックスしてリズムカルな走りをすることができる。 ・自己や仲間の課題を見つけ、その解決に向けて練習等を工夫することができる。 ・陸上競技の楽しさや喜びを味わいながら、主体的に活動に取り組むことができる。	○	○	○	8
								合計
								105

都立拝島高等学校 令和6年度(1学年用)

教科

保健体育

科目 保健

教科 保健体育 科目 保健

単位数 1 単位

対象学年組 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者 (1 組：宗方) (2 組：野々垣) (3 組：野々垣) (4 組：日野) (5 組：野々垣) (6 組：日野) (7 組：日野)

使用教科書 (大修館書店 新高等保健体育)

教科 保健体育 の目標

【知識及び技能】それぞれの運動の特性に応じた技能や健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする

【思考力、判断力、表現力等】運動・健康についての課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、他社に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって運動に親しむ態度や健康の保持増進、体力の向上を目指す態度を養う

科目 保健 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会と健康及び安全な社会生活について 個人及び社会の取り組みについて理解する	現代社会と健康及び安全な社会生活について 自他や社会の課題解決法とそれを選択した理由などを 説明できる	現代社会と健康及び安全な社会生活について 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 健康を保持増進するための管理の重要性と環境 【思考力、判断力、表現力等】 生活の質の向上に向けた課題解決 【学びに向かう力、人間性等】 健康の課題解決に向けた学習に主体的に取り組む態度	・ペア、グループワーク ・新高等保健体育 大修館 ・プリント、スライド資料 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 適切な意思決定・行動選択が重要であることの理解 【思考・判断・表現】 自他や社会の課題の解決法と選択した理由を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康 の考え方について積極的に取り組んでいる	○	○	○	5
	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 感染症の発生、流行、予防について社会及び個人の取り組みを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 感染症について社会及び個人の取り組みを説明する 【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症とその予防について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む態度	・ペア、グループワーク ・新高等保健体育 大修館 ・プリント、スライド資料 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個人の行動選択や社会の対策についての理解 【思考・判断・表現】 自他や社会の課題の解決法と選択した理由を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 現代 の感染症とその予防について積極的に取り組んでいる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 生活習慣と関連のある項目について社会及び個人の取り組みを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣と関連のある項目について社会及び個人の取り組みを説明する 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病とその予防について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む態度	・ペア、グループワーク、ジグソー法 ・新高等保健体育 大修館 ・プリント、スライド資料 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 生活習慣と関連のある項目について社会及び個人の取り組みを理解する 【思考・判断・表現】 生活習慣と関連のある項目について社会及び個人の取り組みを説明する 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣 病とその予防について積極的に取り組んでいる	○	○	○	6
	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 薬物乱用、精神疾患について社会及び個人の取り組みを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 薬物乱用、精神疾患について社会及び個人の取り組みを説明する 【学びに向かう力、人間性等】 薬物乱用、精神疾患について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む態度	・ペア、グループワーク、ロールプレイング ・新高等保健体育 大修館 ・プリント、スライド資料 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 薬物乱用や精神疾患について社会及び個人の取り組みを理解する 【思考・判断・表現】 薬物乱用や精神疾患について社会及び個人の取り組みを説明する 【主体的に学習に取り組む態度】 薬物乱用 や精神疾患について積極的に取り組んでいる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	B安全な社会生活 【知識及び技能】 交通安全について社会及び個人の取り組みを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 交通安全について社会及び個人の取り組みを説明する 【学びに向かう力、人間性等】 交通安全について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む態度	・ペア、グループワーク ・新高等保健体育 大修館 ・プリント、スライド資料 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 交通安全について社会及び個人の取り組みを理解する 【思考・判断・表現】 交通安全について社会及び個人の取り組みを説明する 【主体的に学習に取り組む態度】 交通 安全について積極的に取り組んでいる	○	○	○	5
	B安全な社会生活 【知識及び技能】 応急手当について社会及び個人の取り組みを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 応急手当について社会及び個人の取り組みを説明する 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む態度	・ペア、グループワーク ・新高等保健体育 大修館 ・プリント、スライド資料 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 応急手当について社会及び個人の取り組みを理解する 【思考・判断・表現】 応急手当について社会及び個人の取り組みを説明する 【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当について積極的に取り組んでいる	○	○	○	4
	定期考査			○	○		合計
							35

单位数： 2 单位

使用教科書：（ 高校生の音楽1（教育芸術社）

の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】学習を通して感性を高め、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

の目標：音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広くかかわる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 表現 (1) 歌唱 【知識及び技能】 ・音楽の構造と歌詞の関わりを理解し、曲想にふさわしい発声で歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現を工夫して表情豊かに歌う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲の雰囲気を感じ、主体的に表現しようとする。	校歌 J-POP曲	○			【知識及び技能】 ・音楽の構造と歌詞の関わりを理解し、曲想にふさわしい発声で歌っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現を工夫して表情豊かに歌っているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲の雰囲気を感じ、主体的に表現しようとしているか。		○			14
	A 表現 (2) 器楽：ピアノ 【知識及び技能】 ・楽譜と鍵盤を照らし合わせ、音名と音高、音価を理解する。 ・ピアノの基本的な奏法を身に付け、簡単な旋律を演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音名、音高、音価を理解し、楽器を用いて音で表すことができるか。 ・音楽を構成する要素（リズムなど）を知覚し、ピアノで表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・リズムや音価を感じ取ろうと主体的に活動に取り組み、よりふさわしい表現を求めて工夫しようとする。	日本の童謡 ポップス曲 映画音楽など		○		【知識及び技能】 ・楽譜と鍵盤を照らし合わせ、音名と音高、音価を理解しているか。 ・ピアノの基本的な奏法を身に付け、簡単な旋律を演奏できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音名、音高、音価を理解し、楽器を用いて音で表すことができるか。 ・音楽を構成する要素（リズムなど）を知覚し、ピアノで表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・リズムや音価を感じ取ろうと主体的に活動に取り組み、よりふさわしい表現を求めて工夫しようとしているか。		○		○	16
	A 表現 (2) 器楽：ギター 【知識及び技能】 ・ストローク奏法を身に付け、表現を工夫して弾き歌いをする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・コードの響きや音価を知覚し、正確なリズムで演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・リズムや音価を感じ取ろうと主体的に活動に取り組み、よりふさわしい表現を求めて工夫しようとする。	コード（C, D, G, Em, Am） J-POP曲など		○		【知識及び技能】 ・ストローク奏法を身に付け、表現を工夫して弾き歌いできているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・コードの響きや音価を知覚し、正確なリズムで演奏できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・リズムや音価を感じ取ろうと主体的に活動に取り組み、よりふさわしい表現を求めて工夫しようとしているか。		○		○	16
2 学 期	B 鑑賞 ミュージカル映画 【知識及び技能】 ・それぞれの音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲や演奏を評価しながら、音楽のよさや美しさを味わおうと主体的に聴く。	作風の異なる様々な作品を鑑賞する。			○	【知識及び技能】 ・それぞれの音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲や演奏を評価しながら、音楽のよさや美しさを味わおうと主体的に聴いているか。		○		○	14
	A 表現 アンサンブルの楽しみ 【知識及び技能】 ・音楽を形づくる要素を知覚し、曲の特徴や構造を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲想や表現上の効果について考え、自らの役割を意識しながら表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ内で互いの音や表現を尊重し話し合いながら、主体的に演奏を楽しむ。	ボディパーカッション ヴォイスパーカッション 器楽合奏	○	○	○	【知識及び技能】 ・音楽を形づくる要素を知覚し、曲の特徴や構造を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲想や表現上の効果について考え、自らの役割を意識しながら表現を工夫しようとしているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ内で互いの音や表現を尊重し話し合いながら、主体的に演奏を楽しもうとしているか。		○		○	10 合 計 70

都立栢島高等学校 令和6年度 教科芸術 科目 美術I

单位数： 2 单位

使用教科書：（ 高校生 の 美術 I

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】学習を通して感性を高め、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めること。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表現すること。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすること。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとすること。多角的な視点を持ち、対象を観察する術を身に付けようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ デ ・ 映								
1 学 期	A 題材 表現デザイン(色紙を用いたポストカードの制作) 【知識及び技能】 シルエットが鑑賞者に与える印象について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りのものから形を抜き出し、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取るようにする。	・指導事項 構図の違いが鑑賞者に与える視覚効果について。カッターを用いた基本的な紙の加工方法について ・教材 教科書、配布プリント、はさみ、カッター、のり、色紙 ・一人1台端末の活用 等		○	○	【知】構図を理解し作品制作の中で応用することができる。 【思】温度というテーマに対して自分自身の考えを持ちながら表現形式の特性を生かし、色彩、構成などについて考え、表現の構想を練っている。 【学】主体的に絵画表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○		8	
	A 表現 絵画(アクリル絵の具を用いた絵画作品) 【知識及び技能】 スタンプング技法を用いた表現方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 温度を連想する場面を想像し、絵画表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主題に対して自身の経験をもとに考えを深め、表現しようとする。	・指導事項 絵画表現における構図の役割について。スタンプング技法を用いた表現方法について ・教材 教科書、配布プリント、アクリル絵具、スポンジ、カッター、ハサミ、画用紙		○	○	【知】構図を理解し作品制作の中で応用することができる。スタンプング技法を用いて作品を制作することができる。 【思】温度というテーマに対して自分自身の考えを持ちながら表現形式の特性を生かし、色彩、構成などについて考え、表現の構想を練っている。 【学】主体的に絵画表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○		8	
	A 題材 表現 デザイン(アクリル絵の具を用いたポスターの制作) 【知識及び技能】 ポスターの持つ情報伝達機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化祭というキーワードからイメージを広げ、表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文化祭のテーマに対して自ら進んで考えを深め、表現しようとする。	・指導事項 ポスターデザインにおける構図の効果について、アクリル絵の具を用いた表現技法について ・教材 教科書、配布プリント、アクリル絵具、筆記用具、イラストレーションボード		○	○	【知】ポスターの持つ機能を理解し、作品制作の中で応用することができる。アクリル絵の具を用いて作品を制作することができる。 【思】共通したテーマに対して自分自身の考えを持ちながら表現形式の特性を生かし、色彩、構成などについて考え、表現の構想を練っている。 【学】主体的にポスター制作における表現及			○	○	10
2 学 期	A 題材 映像メディア表現(見立てを用いた作品制作) 【知識及び技能】 ポスターの持つ情報伝達機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化祭というキーワードからイメージを広げ、表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文化祭のテーマに対して自ら進んで考えを深め、表現しようとする。	・指導事項 見立てについて、写真における構図の役割について ・教材 教科書、配布プリント、アクリル絵の具、紙、写真用紙、厚紙、ハサミ ・一人1台端末の活用 等			○	○	【知】見立ての持つ表現の特性を理解し、作品制作の中で応用することができる。タブレットのカメラ機能を用いて作品を制作することができる。 【思】見立ての表現形式の特性を生かし、構成について考え、作品制作の構想を練っている。 【学】班員と協力しながら作品制作及び鑑賞	○	○	○	12
	A 題材 表現 彫刻(透かし彫りを用いたハンガーの制作) 【知識及び技能】 透かし彫りの持つ視覚効果について理解する。切削工具を使い、木材を加工する。 【思考力、判断力、表現力等】 透かし彫りの特性を理解し、木彫表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の在来種に対して自ら進んで調べ、作品に取り入れようとする。	・指導事項 日本の伝統的な木彫作品について、透かし彫りのもたらす視覚効果について、切削工具の扱い方について ・教材 教科書、配布プリント、糸鋸、キリ、彫刻刀、すり板、万力			○	○	【知】透かし彫りの持つ視覚効果を理解し、作品制作の中で応用することができる。切削工具を用いて作品を制作することができる。 【思】伝統的な木彫技法に対して自分自身の考えを持ちながら造形表現の特性を生かし、構想を練っている。 【学】主体的に透かし彫りを用いた木彫における制作及び鑑賞活動に取り組もうとしてい	○	○		16
3 学 期	A 題材 表現 彫刻(透かし彫りを用いたハンガーの制作) 【知識及び技能】 透かし彫りの持つ視覚効果について理解する。切削工具を使い、木材を加工する。 【思考力、判断力、表現力等】 透かし彫りの特性を理解し、木彫表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の在来種に対して自ら進んで調べ、作品に取り入れようとする。	・指導事項 日本の伝統的な木彫作品について、透かし彫りのもたらす視覚効果について、切削工具の扱い方について ・教材 教科書、配布プリント、糸鋸、キリ、彫刻刀、すり板、万力		○		○	【知】透かし彫りの持つ視覚効果を理解し、作品制作の中で応用することができる。切削工具を用いて作品を制作することができる。 【思】伝統的な木彫技法に対して自分自身の考えを持ちながら造形表現の特性を生かし、構想を練っている。 【学】主体的に透かし彫りを用いた木彫における制作及び鑑賞活動に取り組もうとしてい	○	○	○	8
	A 題材 映像メディア表現(ウェーキングアート) 【知識及び技能】 現代アートについて学習し、自らの作品制作に生かす。 【思考力、判断力、表現力等】 現代アートにおける表現方法や工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられたテーマについて身の回りの環境から主題を生成し、自ら進んで考えを深め、表現しようとする。	・指導事項 現代アートにおける表現方法について ・教材 教科書、配布プリント、カメラ、写真印刷用紙、 ・一人1台端末の活用 等			○	○	【知】現代アートにおける表現活動の幅広さを理解し、作品制作に生かすことができる。 【思】現代アートに対して自分自身の考えを持ちながら主題を生成し、構想を練っている。 【学】主体的に資料集めを行い、作品制作及び鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○		8 合 計

都立拝島 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教 科： 芸術 科 目： 書道 I 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（黒田,井口）

使用教科書：（書道 I 東京書籍）

教科 書道 I の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の幅広い表現や鑑賞の活動を通して、習得されたり活用されたりする知識と効果的に表現するための技能を身に付ける。	作品の構想と表現の工夫、鑑賞における思考、判断を身に付ける。	主体的に学習に取り組む態度、生涯にわたり書を愛好する心情を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	A 書写から書道へ 【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できる。用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できる。日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・指導事項 書写で学んできたこと。用具・用材。漢字の書の成立と変遷。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人 1 台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	B 漢字の書 楷書 【知識及び技能】表現・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。鑑賞・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思考力、判断力、表現力等】楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫できる。楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。楷書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組む。	・指導事項 古典に基づく学習。楷書の特徴 表現を比べよう。「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」「自書告身」 ・教材 教科書 書道道具 ・一人 1 台端末の活用 等		○		○	【知識及び技能】共通事項 ※ 表現・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。鑑賞・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。楷書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18

	C 創作 表現の使い分け 鑑賞 【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫することができる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとできる。	・指導事項 古典を生かそう。書 の美や風趣を味わおう。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。				4
	D 漢字の書 行書 【知識及び技能】行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思考力、判断力、表現力等】行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫できる。行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組める。行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとすることができる。	・指導事項 行書の特徴 「蘭亭序」「争坐位文稿」「風信帖」 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】共通事項 ※ 行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。				16
2 学 期	E 創作 四字熟語 鑑賞 【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫することができる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとできる。	・指導事項 古典を生かそう。書 の美や風趣を味わおう。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。				4

3 学 期	F 平仮名の単体 【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】平仮名の成立を理解し特徴を捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組むことができる。	・指導事項 仮名の成立 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】平仮名の成立を理解し特徴を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					8
	G 書初め 【知識及び技能】書初めの歴史的背景を知る。 【思考力、判断力、表現力等】字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。漢字と平仮名のバランスを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】明確な目標設定を立てられる。	・指導事項 書初め ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】共通事項 ※ 書初めの歴史的背景を知る。 【思考力、判断力、表現力等】字形、構成等の要素と表現効果を理解している。漢字と平仮名のバランスを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】明確な目標設定を立てられる。					2
	H 散らし書き 【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組むことができる。	・指導事項 全体構成 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。					4
	I 漢字仮名交じりの書 創作 【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けられる。 【思考力、判断力、表現力等】漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・指導事項 漢字仮名交じりの書の変遷。表現を比べよう 表現の工夫。紙面構成。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。					10 合計 70

年間授業計画 新様式例

都立拝島高等学校 令和6年度

外国語

科目英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1組：藤野・関野) (2組：藤野・菊地) (3組：菊地・藤野) (4組：菊地・関野) (5組：関野・菊地) (6組：関野・藤野)

(7組：関野・藤野)

使用教科書： (COMET English CommunicationⅠ (数研出版))

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的・基本的な外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、基礎的・基本的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して基礎的な内容を適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に基礎的・基本的な外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	Lesson1 What Did You Do in Japan? 【知識及び技能】 be動詞や一般動詞の現在形を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞や一般動詞の現在形を用いて、思い出に残っている経験を相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 海外からの観光客の掲示板を通して国際的な視点を考えさせる。	・海外の人が日本の何に興味を持っているのか、何を楽しんでいるのかを知る。 ・be動詞や一般動詞の過去形を理解する。 ・思い出に残っている経験をやりとりする。	○			○		・本文の内容を聞いて、概要を把握できる。 ・本文を読んで、概要を把握できる。 ・be動詞や一般動詞の過去形を用いて、思い出に残っている経験をやりとりすることができる。	○	○	○	7
	Lesson2 When Do You Feel Happy? 【知識及び技能】 現在進行形・過去進行形を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在現在形・過去進行形を用いて、自分の意見を伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身の興味・関心や興味のあるものについて考えさせる。 定期考査	・DaikiとAyaのやりとりからDaikiがダンスをする理由を知る ・現在進行形・過去進行形を理解する。 ・自分の好きなことについてやりとりする。	○	○	○			・本文の内容を聞いて、概要を把握できる。 ・本文を読んで、概要を把握できる。 ・自分の興味・関心があるものについて相手に伝え合うことができる。	○	○	○	8
	Lesson3 Onigiri Goes Overseas 【知識及び技能】 助動詞(can/may/must)を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞(can/may/must)を用いて日本の魅力や良さを相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の文化への理解を深める。おにぎり	・海外でのおにぎりの人気について知る。 ・助動詞を理解する。 ・日本の文化についてやりとりする。	○		○			・本文の内容を聞いて、概要を把握できる。 ・本文を読んで、概要を把握できる。 ・今やっていること、過去にやっていたことを相手に伝え合うことができる。	○	○	○	8
	Lesson4 Pictograms 【知識及び技能】 不定詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞を用いて自分のやりたいことを相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ピクトグラムの社会における役割を考えさせる。 定期考査	・ピクトグラムとは何か、社会での役割を知る。 ・不定詞を理解する。 ・自分の好きなことについてやりとりする。	○	○	○			・本文の内容を聞いて、概要を把握できる。 ・本文を読んで、概要を把握できる。 ・自分のやりたいことを相手に伝え合うことができる。	○	○	○	9
									○	○		1
	Lesson5 Morita Yuko Hospital Facility Jog Handler 【知識及び技能】 動名詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞を用いて自分の好きなこと・興味のあることを発表できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ファシリティドッグの社会的役割を考えさせる。	・フレンチティードッグとは何かを知る。 ・動名詞を理解する。 ・興味のある職業について発表する。	○	○	○	○		・本文の内容を聞いて、概要を把握できる。 ・本文を読んで、概要を把握できる。 ・自分のやりたいことを相手に話して伝え合うことができる。	○	○	○	9

2 学 期	Lesson6 Convenience stores: Keys to their Success 【知識及び技能】 that節の用法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 that節を用いて身近な人の印象・感想について伝え合い、発表できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 コンビニエンスストアの成功のカギに	・コンビニエンスストアの工夫を知る。 ・that節を理解する。 ・自分の好きな店についてクラスメートの発表を聞いて感想を伝え合い、発表する。	○	○	○	○	・本文の内容を聞いて、概要を把握できる。 ・本文を読んで、概要を把握できる。 ・自分の好きな店についてクラスメートの発表を聞いて伝え合う（発表する）ことができる。	○	○	○	11
	定期考査							○	○		1
	Lesson7 High School Aquarium 【知識及び技能】 現在完了形の用法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了形を用いて自分の経験したことを相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 特色のある高校の部活の理解を通して、自分の学校の良さを考えさせる。	・特色のある部活動の活動内容を知る。 ・現在完了を理解する。 ・自分の住んでいる場所の良いところを相手につたえられるようにする。	○	○	○		・本文の内容を聞いて、概要を把握できる。 ・本文を読んで、概要を把握できる。 ・自分の住んでいる場所の良いところを相手に話して伝え合うことができる。	○	○	○	11
	Lesson8 Smart Farming 【知識及び技能】 受動態の用法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 能動態と受動態を使い分けながらやりとりさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 進歩している科学技術が農業ではどのように活用されているのかを考えさせる。	・農業における科学技術の活用を理解する。 ・受動態を理解する。 ・科学技術によって開発された商品について書き、やりとりする。	○	○	○	○	・本文の内容を聞いて、概要を把握できる。 ・本文を読んで、概要を把握できる。 ・科学技術によって最近開発された商品について書き、やりとりすることできる。	○	○	○	12
	定期考査							○	○		1
3 学 期	Lesson9 Food Waste 【知識及び技能】 比較級・最上級を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 比較級を用いてものを比べさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品廃棄を通じてSDG s な社会について考えさせる。	・食品ロスの問題を理解する。 ・比較級・最上級を理解する。 ・他の国と比べて日本の環境問題について調べて書く。	○	○	○	○	・本文の内容を聞いて、概要を把握できる。 ・本文を読んで、概要を把握できる。 ・食品ロスを減らすために私たちができることを書いて伝え合うことができる。	○	○	○	12
	Lesson10 Willian and His Windmill 【知識及び技能】 関係代名詞を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 関係代名詞を用いて自分の好きなものや人を紹介させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地球のために何ができるかを学ばせる。	・環境問題を再認識する。 ・関係代名詞を理解する。 ・自分の好きなものや人を紹介する。	○	○	○	○	・本文の内容を聞いて、概要を把握できる。 ・本文を読んで、概要を把握できる。 ・地球のためにできることを書いて伝え合うことができる。	○	○	○	13
	定期考査							○	○		1
											合計
											105

都立拝島高等学校 令和6年度（1 学年用）教科

外国語

科目 論理表現Ⅰ

教 科： 外国語

科 目： 論理表現Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （12組：竹村・長野 （34組：竹村・長野・橋上） （56組：橋上・竹村・笠木） （7組：橋上・長野）

使用教科書：（ MY WAY Logic and ExpressionⅠⅠ ）

教科 外国語

の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理表現Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的・基本的な外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いたり、話したりして伝えることができるようになる。	聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、基礎的・基本的なことを、主体的、自律的に理解しようとする態度を養う。また、外国語を用いて意欲的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ － や － ）	話 （ － 発 － ）					
Lesson1 [Let's talk about Ourselves] 【知識及び技能】 be動詞や一般動詞の現在形を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞や一般動詞の現在形を用いて、相手の情報をつかんだり、自分の事を話したりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に相手とコミュニケーションをはかり、積極的に相手を知らうとしたり、自分を知ってもらったりする態度を養う。	・自己紹介を通して自分の気持ちや考えを整理する。 ・be動詞、一般動詞の現在形を理解する。 ・理解した文法事項を用いて自分についての情報を相手に伝える。 ・理解した文法事項を用いて相手の情報を理解できるようにする。	○	○	○	○	・相手の情報を聞いて概要を把握できる。 ・自分の情報を整理し、英語で表現できる。 ・自分の情報と相手の情報を、話して伝え合うことができる。 ・be動詞や一般動詞の現在形を用いて、自分の事を、相手に伝えることができる。	○	○	○	6
Lesson2 [School Life] 【知識及び技能】 be動詞や一般動詞の過去形、現在進行形や過去進行形を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞や一般動詞の過去形、さらに現在進行形や過去進行形を用いて、相手の情報をつかんだり、自分の事を話したりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に相手とコミュニケーションをはかり、積極的に相手を知らうとしたり、自分を知ってもらったりする態度を養う。	・会話聞いて、過去について表現する方法を学ぶ。 ・現在進行形、過去進行形を理解する。 ・部活動紹介の記事を理解する。	○	○		○	・相手の情報を聞いて概要を把握できる。 ・自分の情報を整理し、英語で表現できる。 ・自分の情報と相手の情報を、話して伝え合うことができる。 ・be動詞や一般動詞の過去形を用いて、自分の事を、相手に伝えることができる。 ・現在進行形、過去進行形を用いて、自分の事を、相手に伝えることができる。	○	○	○	7
1 学 期 定期考査							○	○		1
Lesson3 [The Arts] 【知識及び技能】 未来表現(will, be going to～)を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 未来表現(will, be going to～)bを用いて、相手の情報をつかんだり、自分の事を話したりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に相手とコミュニケーションをはかり、積極的に相手を知らうとしたり、自分を知ってもらったりする態度を養う。	・週末の予定について会話をする。 ・すぐに答えられない時のつなぎことばについて学ぶ。 ・未来表現(will, be going to～)を使って表現する。 ・好きな絵について発表をする。 ・聞き手の注意をひく方法を学ぶ。 ・基本時制(現在形・過去形・未来表現)について確認する。	○	○	○	○	・相手の情報を聞いて概要を把握できる。 ・自分の情報を整理し、英語で表現できる。 ・自分の情報と相手の情報を、話して伝え合うことができる。 ・基本時制(現在形・過去形・未来表現)を用いて、自分の事を、相手に伝えることができる。 ・現在進行形、過去進行形を用いて、自分の事を、相手に伝えることができる。	○	○	○	7
Lesson4 [Food and Culture] 【知識及び技能】 現在完了形(完了、経験、継続)を理解させる。 現在完了進行形を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了形(完了、経験、継続)を用いて、相手の情報をつかんだり、自分の事を話したりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に相手とコミュニケーションをはかり、積極的に相手を知らうとしたり、自分を知ってもらったりする態度を養う。	・料理を注文するときの会話をする。 ・レストランで注文するときのいろいろな表現を学ぶ。 ・現在完了形(完了、経験)を使って表現する。 ・日本の食文化を紹介するレポートを書く。 ・例を挙げる。 ・現在完了形(継続)、現在完了進行形を使って表現する。	○	○		○	・レストランで料理の注文の表現を理解できる。 ・相手の情報を聞いて概要を把握できる。 ・自分の情報を整理し、英語で表現できる。 ・自分の情報と相手の情報を、話して伝え合うことができる。 ・現在完了形(完了、経験、継続)を用いて、自分の事を、相手に伝えることができる。 ・現在完了進行形を用いて、自分の事を、相手に伝えることができる。	○	○	○	7
定期考査							○	○		1
Lesson5 [Welcome to Our Town] 【知識及び技能】 助動詞(can, may, must, shouldなど)を理解させる。 受動態を理解させる。	・道案内の会話をする。 ・場所を詳しく説明する表現を学ぶ。 ・助動詞を使って表現する。 ・地域の特徴やマスコットキャラクターについて発表をする。 ・受動態を使って表現する。					・道案内の会話を理解できる。 ・相手の情報を聞いて概要を把握できる。 ・自分の情報を整理し、英語で表現できる。				

2 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 助動詞を用いて、相手の情報をつかんだり、自分の事を話したりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に相手とコミュニケーションをはかり、積極的に相手を知ろうとしたり、自分を知ってもらったりする態度を養う。	・又動態について表現する。 ・〈原因・理由〉⇒〈結果〉の関係を示す。	○	○	○	○	・自分の情報と相手の情報を、話して伝え合うことができる。 ・助動詞を用いて、自分の事を、相手に伝えることができる。 ・受動態を用いて、自分の事を、相手に伝えることができる。	○	○	○	7
	Lesson6 [Traveling Abroad] 【知識及び技能】 不定詞(名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法)を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞を用いて、相手の情報をつかんだり、自分の事を話したりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に相手とコミュニケーションをはかり、積極的に相手を知ろうとしたり、自分を知ってもらったりする態度を養う。	・買い物会話をする。 ・買い物で使える色々な表現を学ぶ。 ・不定詞(名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法)を使って表現する。 ・旅行先から友だちへメッセージを書く。 ・手紙やメールなどの色々な表現を学ぶ。	○	○	○	○	・買い物について、聞いて概要を把握できる。 ・買い物について、読んで概要を把握できる。 ・買い物について、話して伝え合うことができる。 ・買い物について、話して伝え合うことができる。 ・手紙やメールについて、聞いて概要を把握できる。 ・手紙やメールについて、読んで概要を把握できる。 ・手紙やメールについて、話して伝え合うことができる。	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1

[illegible]

都立坪島高等学校 令和6年度(1学年用)

教科 家庭

科目 家庭基礎

教科： 家庭

科目： 家庭基礎

単位数： 2

単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

教科担当者：（1組：濱田・藤井）（2組：野村・藤井）（3組：野村・藤井）（4組：野村・藤井）（5組：濱田・藤井）（6組：野村・藤井）
（7組：野村・藤井）

使用教科書：（東京書籍 家庭基礎

）

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】協働し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標 (学習目標)	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	人の一生と家族・家庭及び福祉 A 生涯の生活設計 【知識及び技能】 ・多様な生き方への理解と尊重 ・生涯を見通した意思決定と理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来の生活への課題設定 ・課題解決する力をつける 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題解決に主体的に取り組める ・生活の充実向上を図るために地域で実践する意欲をもつ	・指導事項 多様な生き方 生活設計 ライフステージ、ライフプラン ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 様々な生き方があることを理解し、尊重できる。生涯を見通して意思決定をしていくことの重要性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について課題を設定し解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に主体的に取り組む、学びを振り返って改善したりしている。地域社会に参画しようと考え、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	3
	人の一生と家族・家庭及び福祉 B 青年期の自立と家族・家庭 【知識及び技能】 ・青年期の課題理解 ・家庭生活を取り巻く社会変化、課題への理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・責任ある意思決定ができる ・家庭生活を築くための課題発見 ・解決策の構想と論理的表現 【学びに向かう力、人間性等】 ・家庭、地域の生活の充実向上を図るための具体的な実践準備	自立 家族に関する法 家族の変化 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 生涯発達視点で青年期の課題を理解している。家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定している。解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						1
	衣食住の生活の自立と設計 C 衣生活と健康 【知識及び技能】 ・被服の機能と着装の理解 ・衣生活情報の収集・整理 ・被服の材料、構成、衛生への理解 ・被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 ・被服の機能性や快適性への課題を解決する力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 ・衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組む ・振り返り、改善して実践する必要性の理解と実践しようとする姿勢を身に付ける。	・指導事項 被服の機能 被服材料の特徴 被服の手入れと方法 被服製作と再利用の方法 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしたか。	○	○	○	10

2 学 期	衣食住の生活の自立と設計 D 住生活と住環境 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた住生活の特徴理解 ・住居の機能についての理解 ・住居の計画・管理に必要な技能 【思考力、判断力、表現力等】 ・住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりを考慮した課題解決 【学びに向かう力、人間性等】 ・住環境と住生活の取り組み理解 ・QOL向上のため、課題の解決に主体的に取り組む。 ・課題を振り返り、改善して実践する必要性の理解と実践しようと取り組む姿勢を身につける。	・指導事項 ひとり暮らしの部屋探し 住居の機能や快適性 安全や環境に配慮した住まい 地域社会と協働 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	衣食住の生活の自立と設計 E 食生活と健康 【知識及び技能】 ・栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活についての理解 ・食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生への理解 ・調理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題解決に主体的に取り組む。 ・課題を振り返り、改善して実践する必要性の理解と実践しようと取り組む姿勢を身につける。	・指導事項 栄養の特徴や食品の栄養的特質 食の安全 食品の調理上の性質 食文化の継承 献立作成 調理計画 健康や環境に配慮した食生活 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解しているとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						0
2 学 期	人の一生と家族・家庭及び福祉 F 子どもの生活と保育 【知識及び技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援についての理解 ・乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。課題を決する力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・QOL向上のため、課題の解決に主体的に取り組む。 ・課題を振り返り、改善して実践する必要性の理解と実践しようと取り組む姿勢を身につける。	乳幼児期の心身の発達と生活 親の役割と保育 子どもを取り巻く社会環境 子育て支援 乳幼児と適切に関わる基礎的な技能 親、家族、地域や社会の果たす役割 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	12
	持続可能な消費生活・環境 G 生活における経済の計画 【知識及び技能】 ・家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・QOL向上のため、課題の解決に主体的に取り組む。 ・課題を振り返り、改善して実践する必要性の理解と実践しようと取り組む姿勢を身につける。	・指導事項 家計の構造 生活における経済と社会との関わり 家計管理 生涯を見通した経済の管理や計画 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

3 学 期	持続可能な消費生活・環境 H 消費行動と意思決定 【知識及び技能】 - 消費生活の現状と課題，消費行動における意思決定や契約の重要性，消費者保護の仕組みについての理解 - 生活情報を適切に収集・整理 【思考力、判断力、表現力等】 - 生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだす - 課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 - QOL向上のため、課題の解決に主体的に取り組む。 - 課題を振り返り、改善して実践する必要性の理解と実践しようと取り組む姿勢を身につける。	・指導事項 消費者の権利と責任 消費生活の現状と課題 消費行動における意思決定 契約の重要性 消費者保護の仕組み 生活情報の活用 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題，消費行動における意思決定や契約の重要性，消費者保護の仕組みについて理解するとともに，生活情報を適切に収集・整理できる。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，消費行動と意思決定について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	持続可能な消費生活・環境 I 持続可能なライフスタイルと環境 【知識及び技能】 - 生活と環境との関わりや持続可能な消費についての理解 - 持続可能な社会へ参画することの意義についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 - 主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 - QOL向上のため、課題の解決に主体的に取り組む。 - 課題を振り返り、改善して実践する必要性の理解と実践しようと取り組む姿勢を身につける。	・指導事項 持続可能な社会、消費 持続可能な社会へ参画する意義 安全で安心な生活と消費について ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解しているとともに，持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，持続可能なライフスタイルと環境について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	持続可能な消費生活・環境 J 高齢期の生活と福祉 【知識及び技能】 - 高齢期の心身の特徴，高齢者を取り巻く社会環境，高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解しているとともに，生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 - 家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 - QOL向上のため、課題の解決に主体的に取り組む。 - 課題を振り返り、改善して実践する必要性の理解と実践しようと取り組む姿勢を身につける。	・指導事項 高齢期の心身の特徴 高齢者を取り巻く社会環境 高齢者の尊厳 自立生活の支援や介護 家族や地域及び社会の果たす役割 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 高齢期の心身の特徴，高齢者を取り巻く社会環境，高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解しているとともに，生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立生活を支えるために，家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，高齢期の生活と福祉について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	持続可能な消費生活・環境 K 共生社会と福祉 【知識及び技能】 - 生活を支える福祉や社会的支援の理解 【思考力、判断力、表現力等】 - 共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 - QOL向上のため、課題の解決に主体的に取り組む。 - 課題を振り返り、改善して実践する必要性の理解と実践しようと取り組む姿勢を身につける。	・指導事項 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性 ・教材 教科書 補助資料 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，共生社会と福祉について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	3
	衣食住の生活の自立と設計 L ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	学習の発展として実践的な活動を家庭や地域で行おうとしている。 *活動の紹介にとどめる				1
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

都立拝島高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教 科： 人間と社会 科 目： 人間と社会 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1 組：古川・関野) (2 組：甲斐田・笹原) (3 組：笠木・野々垣) (4 組：古家・菊地)
(5 組：岩瀬・大野) (6 組：藤野・阿久津) (7 組：田中・藤井)

使用教科書： (人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」改訂版教科書)

教科 人間と社会 の目標：

- 【知識及び技能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。
- 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 遠足事前指導	・遠足のについての事前学習					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。	○		○	6
	B 体育祭練習	・体育祭の意義を理解する。 ・集団行動、協調性とは何かを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。		○	○	5
	C 清流祭企画準備	・文化行事の意義を知る。 ・集団行動、協調性の大切さを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	6
	D 「人間と社会」 第1章 「人間関係を築く」	・人間関係を築くことの意味を理解し、それについて考察する。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。	○		○	1
2 学 期	C 清流祭企画準備	・文化行事の意義を知る。 ・集団行動、協調性の大切さを理解する。 ・自己の役割と責任について理解する。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。			○	3
	進路講演	進路に対する意識を高める。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。	○		○	2
	D 「人間と社会」 第2章 「学ぶことの意義を理解する」	・学ぶことの意味を理解し、それについて考察する。					・活動に対し主体的に取り組んでいるか。	○		○	1

[illegible]